

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	003								
事務事業名	広報広聴活動経費				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	02	項	01	目	02	事業	02
担当部	市長公室	担当課	秘書課		担当係	広報広聴係													
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input checked="" type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input checked="" type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)				根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称:)													

2 事務事業の目的										当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。																						
現状課題	広報紙(毎月1回)とお知らせ版(毎月1回)の発行、市ホームページの更新により市民への充実した情報発信を基本業務としているが、市外への情報発信、またSNS・動画による市の魅力発信など、紙媒体以外のあらたな情報発信にも取り組んでいる。そのように、膨大な事務負担を広報担当だけで行うことは、情報の誤発信、見落とし、遅延などに繋がってしまう。また、そのための財源確保も今後の課題である。さらに、今の当市の情報発信を市内外の方の満足度も測れていない。										誰・何を対象に	当市で実施する主要事業で、市民に確実・迅速につたえるべき情報。当市の魅力を市内外に知っていただくための情報。										望ましい状態	各課・各職員が広報マンとして自覚と責任を持ち、市民が求めている情報のあり方を理解し、効率的・効果的に正確で有意義な情報を多くの方にお届けする状態。									
どのような方法・手順で	広報紙(広報常総・広報じょうそうお知らせ版)や市ホームページに加え、SNS(Facebook・Twitter)の掲載内容を充実させると同時に、積極的なパブリシティ活動を行う。																															

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。									
指標名	報道への情報提供	単位	件	目標値	100	目標年次	2019	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	報道機関への情報提供回数を増やすことで、新聞・テレビなど市の情報の露出機会を増大させる。									

4 事務事業の実績 ㊦										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																																																
年度	平成28年度					平成29年度					平成30年度																																															
	業務名					業務名					業務名																																															
事務事業を構成する主な業務	①「広報常総」発行業務	12	①「広報常総」発行業務	12	①「広報常総」発行業務	12	①「広報常総」発行業務	12	①「広報常総」発行業務	12	②「広報じょうそうお知らせ版」発行業務	24	②「広報じょうそうお知らせ版」発行業務	24	②「広報じょうそうお知らせ版」発行業務	18	③定例記者会見の開催	4	③定例記者会見の開催	7	③定例記者会見の開催	5	④広報戦略検討委員会の開催	0	④広報戦略検討委員会の開催	1	④広報戦略検討委員会の開催	1	⑤広報戦略推進本部会議の開催	2	⑤広報戦略推進本部会議の開催	0	⑤広報戦略推進本部会議の開催	1	⑥取材回数	125	⑥取材回数	116	⑥取材回数	99	⑦市民からの苦情・要望等の受付	376	⑦市民からの苦情・要望等の受付	311	⑦市民からの苦情・要望等の受付	226	⑧facebook投稿回数	647	⑧facebook投稿回数	536	⑧facebook投稿回数	499	⑨有料広告・バナーの新規受付	6	⑨有料広告・バナーの新規受付	6	⑨有料広告・バナーの新規受付	4
	目標値に対する実績値					59	件	目標値に対する実績値					64	件	目標値に対する実績値					87	件																																					
	決算額	計	15,883,000	円	内訳	特定財源	0	円	一般財源	15,883,000	円	計	19,817,760	円	内訳	特定財源	0	円	一般財源	19,817,760	円	計	27,502,567	円	内訳	特定財源	0	円	一般財源	27,502,567	円	(住民一人あたりの行政コスト) 261 円 (住民一人あたりの行政コスト) 328 円 (住民一人あたりの行政コスト) 458 円																										

5 担当者評価 ㊦										実施したことによる成果や問題点を記入してください。											
成果	ほぼ目標どおり										成果内容	30年10月から、お知らせ版の発行を毎月2回→1回にしたことにより、業務・予算両面において効率化を図った。その分、昨年度のデジタルアーカイブに続き、31年度から広報紙をはじめとする発行物の多言語翻訳アプリの導入など、新たな施策に取り組めるようになった。									
問題点	市民の方が、現在の広報紙をはじめとする市からの情報にどれほど満足しているか、また、市から一方通行の情報になっていないか、疑問である。そのために、定期的に事業の評価を行っていきながらより良い形にしていく必要がある。																				

6 担当部長及び担当課長評価 ㊦										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。										
事務事業の方向性										<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止										
評価理由	広報紙の活用やホームページ・SNSの掲載内容を充実させるなど、市内・市外への情報発信に努めることで強化した。また、「広報常総お知らせ版」の発行回数を2回から1回へ見直し、市内に多く居住する外国人にも平等な情報を提供するための予算の効率化を図った。今後もさらに市民が求めている情報発信のため、積極的な取り組みを行う必要が考えられる。																			

7 実施計画 ㊦										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。											
年度	令和元年度					令和2年度					令和3年度										
事業内容	・「広報常総」の毎月発行。レイアウトの見直し。 ・「広報じょうそうお知らせ版」の毎月発行。レイアウトの見直し。 ・市ホームページの随時更新。デザイン変更。 ・SNS(Facebook・Twitter)への投稿。 ・イベント等の取材。 ・定例記者会見の開催。 ・各種事業やイベントの報道機関への情報提供。 ・広報戦略検討委員会の開催。 ・広報戦略推進本部会議の開催。 ・有料広告・バナー広告の新規・継続の受付。 ・市への苦情・要望の受付。 ・市公式ホームページのデザイン変更。 ・「広報常総」「広報じょうそうお知らせ版」の多言語翻訳アプリ導入。 ・災害時にも市役所内でケーブルテレビが視聴可能になるように、J:COMと契約。 ・市内出身のプロカメラマンによる、市民・職員を対象とした写真教室の開催。 ・DTPソフトの購入。 ・合併15周年記念動画作成。					・「広報常総」の毎月発行。 ・「広報じょうそうお知らせ版」の毎月発行。 ・市ホームページの随時更新。 ・SNS(Facebook・Twitter)への投稿。 ・イベント等の取材。 ・定例記者会見の開催。 ・各種事業やイベントの報道機関への情報提供。 ・広報戦略検討委員会の開催。 ・広報戦略推進本部会議の開催。 ・有料広告・バナー広告の新規・継続の受付。 ・市への苦情・要望の受付。 ・職員を対象とした情報発信研修。 ・新聞紙面広告の作成及び掲載(市の政策や取組み等) ・テレビ受信料 ・市民向け情報発信アプリの導入					・「広報常総」の毎月発行。 ・「広報じょうそうお知らせ版」の毎月発行。 ・市ホームページの随時更新。デザイン変更。 ・SNS(Facebook・Twitter)への投稿。 ・イベント等の取材。 ・定例記者会見の開催。 ・各種事業やイベントの報道機関への情報提供。 ・広報戦略検討委員会の開催。 ・広報戦略推進本部会議の開催。 ・有料広告・バナー広告の新規・継続の受付。 ・市への苦情・要望の受付。 ・市のPR動画作成。 ・テレビ受信料										
成果指標	指標名	報道への情報提供	単位	件	目標値	100	指標名	報道への情報提供	単位	件	目標値	100	指標名	報道への情報提供	単位	件	目標値	100			
予算額	歳出	計	19,781 千円					歳出	計	17,151 千円					歳出	計	16,500 千円				
	歳入	特定財源	0 千円					特定財源	0 千円					特定財源	0 千円						
		一般財源	19,781 千円					一般財源	17,151 千円					一般財源	16,500 千円						
		計	19,781 千円					計	17,151 千円					計	16,500 千円						

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
事業の方向性は現行どおりでよいと考えるため、担当部長及び担当課長評価を再考していただきたい。難しい行政用語をかみくだいた表現にし、市民が求める正確でわかりやすい情報発信をして行って欲しい。さらに、市の魅力を市内外に知ってもらえるよう更なる分析・検討に努め、限られた財源を有効に活用できるよう費用対効果も意識すること。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊦																				
事務事業の方向性										<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止										
評価理由	市民が求めている情報発信の仕方・見せ方等について、HP・広報誌等のデザイン変更や多言語翻訳アプリの導入といった新たな取り組みにチャレンジすることは必要。限られた財源で十分な効果が出るよう期待する。																			

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㊦										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。										
事業内容	広報紙・ホームページ・SNS・新聞紙面広告等を活用し、市内・市外への情報発信に努めると共に、市内に多く居住する外国人に対しても、多言語翻訳アプリ等を利用し情報提供の強化を図る。今後も市民が求めている情報発信に努める。																			